

- 日 時 : 令和8年5月27日(水) 14時30分～
- 場 所 : 海田町役場 1階 多目的室 1-1B
- 出席者 : (会長) 呉工業高等専門学校 神田教授 ほか委員9名 ・ 町事務局

○ 会議次第

- 1 開会
- 2 議事

- (1) 令和7年度海田町地域公共交通会議決算について 資料1
- (2) 令和8年度海田町地域公共交通会議予算案について 資料2

3 報告事項

- (1) 循環バス利用状況について 資料3-1～資料3-4
- (2) 循環バス北ルート乗り残し対策 車両の改造について 資料4
- (3) 町内事業者との連携について 資料5

4 協議事項

循環バス運行ルート及び停留所について 資料6

5 その他

夏休みの小学生をターゲットとした公共交通利用促進策の概要について (広島県) 資料7

	【開会】
事務局	議事(1) 令和7年度海田町地域公共交通会議決算について説明
	異議なし・承認
事務局	議事(2) 令和8年度海田町地域公共交通会議予算案について説明
	異議なし・可決
事務局	報告事項(1) 循環バス利用状況について説明
会長	R7.12月に運賃改定をしているが、昨年度の利用ベースで令和8年度の収支率ほどの程度を予測しているか。
事務局	21%程度を予測している。
委員	昨年度、7月の利用者数が多いが何かイベント等があったのか。
事務局	把握していないが、例年7月は利用が多い傾向にある。
委員	路線バスでも例年7月の利用が多い傾向にある。
会長	夏休みの時期は海田総合公園へ行くために部活生の利用が多いかもしれない。
委員	大人と子供の利用状況は把握しているか。
事務局	町では、毎月、大人運賃・小学生運賃で支払った人数は把握しているが、中学生・高校生は大人運賃に含まれるため、中・高生の利用人数までは把握できていない。小学生の利用は夏休み期間に多い傾向にある。
委員	夏休み期間中は、通学時間以外の時間帯で、部活生や私服で出かける小中学生などの利用が見受けられる。

会長	海田市駅乗降客数の最近の動向は？
委員	2025年の海田市駅の利用は対前年比で、①普通切符やICカードによる乗車・②通勤定期での乗車・③通学定期での乗車、どの項目も利用が増加している。特に、普通切符やICカードでの乗車が増えている。山陽本線全体的にみても普通切符・ICカードでの乗車が増えており、広島駅を目的地とした利用が増えているのかもしれない。
会長	基調として、海田町は人口が増加していることと、ミナモアなど広島駅中心部の整備が進み、広島駅界隈に滞在する人が増えていることが考えられる。 今後広島駅へ向かう傾向がより活発化するのかもしれない。 乗り残しの状況には、最近変化があったか。
委員	1～3月の利用促進キャンペーン期間中の利用は盛況だったが、4月に入って乗り残しは減った感覚。
会長	天候により利用者の数に変化があるか。
委員	雨の日と気温が高い日は利用が多い。
委員	収支状況について、令和7年度は利用者数・運賃収入も増えて、収支率も上がっているが、町負担額は増えている。どうしてもこのような傾向になってしまうのか。
事務局	交通事業者に運行委託をしており、燃料費や人件費の高騰などの理由により運行経費は年々増加している。
委員	運賃収入を上げても、運行経費も上がるため、収支率向上は難しい問題。
事務局	(2) 循環バス北ルート乗り残し対策 車両の改造についての説明
委員	交通事業者の現在の運転手は大型二種免許を保有しているのか。
委員	全員大型二種免許を保有しているが、乗務員不足は深刻。
会長	一時的な対策にはなるが、この先また乗り残しが発生する可能性は高い。 次の対策の検討を進める必要がある。
事務局	(3) 町内事業者との連携についての説明
会長	乗車証明書の発行など、運行事業者側は対応できるか。現場での課題がありそう。
事務局	運転手に負担を掛けない方向で考えていきたい。
会長	良い取組なので、交通事業者と協力して進めてほしい。
事務局	協議事項 循環バス運行ルート及び停留所について説明
会長	今年度からモビリーデイズ機器で、ICOCA等も決済もできるようになるのか。
委員	7月から、モビリーデイズ機器で10種類の交通系ICカードの決済が可能になる。 乗車時と降車時の2タッチになるため、対象の交通系ICカードのOD情報の取得が可能となる。7月以降、取得できたODデータは随時町へ提供する。 また、昨年度簡易型ICカード端末から取得できたICOCAの降車データについては、町へ提供可能。
事務局	ぜひ参考にさせていただきたい。
会長	海田町は地形的に瀬野川で南北に分断されている。 また北ルートの旧道は道幅が狭いのがネック。
委員	役場庁舎近傍へバス停設置の再検討とあるが、以前検討した時何がハードルとなり、断

	念したのか。
事務局	令和5年9月の役場移転の際に、役場敷地への停留所の設置を検討したが、運行ルート的大幅な見直しが必要となり、現行の運行ダイヤの維持が困難などの理由から断念し、南ルート の役場付近の経路上に新たなバス停を設置した経緯がある。
委員	役場が子供たちの自習スペースにもなっていることも踏まえると、より近傍に設置ができると良いと思う。
会長	海田町は道幅が狭い箇所が多い。改善できそうな箇所もしくは仮に隅切りだけでも設けることができる箇所があれば検討してはどうか。 ルート見直しに向けた時期の目途はあるか。
事務局	年内に可能性はお示ししたい。それまでに2回程度進捗と方向性を協議したいと考えている。
委員	夏休みの小学生をターゲットとした公共交通利用促進策の概要について説明（広島県）
事務局	町の循環バスも参加したいと考えている。この先、運賃協議分科会の手続きがあるが、タイトなスケジュールのため、該当の委員へは書面審議での依頼を予定している。
会長	その他、意見・報告等あるか。
委員	芸陽バスより情報提供 「6/22～畑賀線のダイヤ改正について」 変更内容としては、旧道経由の畑賀6:30発と7:30発の便を1本化し、7:00発とする。 また、夕方の複数便について、出発時間を前倒しにする。 畑賀線は運転手一人で運行しているため、運転手の労働時間を削減する目的。 ご不便をお掛けするがご容赦いただきたい。
	【閉会】